

平成 21 年度全国山岳遭難対策協議会開催要項

1 趣 旨

登山における遭難事故を防止するため、山岳関係者や山岳遭難対策関係者の参加を求め、山岳遭難の原因等について研究協議し、今後の遭難対策の具体的施策に役立てる。

2 主 催

文部科学省、警察庁、環境省、気象庁、消防庁、社団法人日本山岳協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、山岳遭難対策中央協議会

3 期 日 平成 21 年 7 月 17 日 (金)

4 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際会議室 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3 番 1 号 電話 03-3469-2525

5 参加者

(1) 各都道府県からの参加者は、次の①及び②に該当する者の中から 4～5 名とする。

① 各都道府県教育委員会の関係者

② 下記に該当する者

ア 各都道府県山岳遭難救助組織（都道府県遭難対策協議会、警察、消防防災、自然公園保護等）の関係者

イ 各都道府県山岳協会（連盟）の関係者

ウ 高等学校登山部（山岳部）の関係者

(2) 山岳ガイド、山小屋の関係者、旅行会社等のツアー登山関係者、メディア関係者、登山道具製造業関係者、登山道具小売業関係者

(3) 高等専門学校山岳部の関係者（顧問、監督、コーチ等）

(4) 大学山岳部の関係者（顧問、監督、コーチ等）

(5) その他山岳団体関係者

6 内容

(1) 開会式 9:30～9:45

(2) 基調講演 10:00～11:30

「中高年登山者の体力と遭難」(仮題) 講師：鹿屋体育大学教授 山本 正嘉

(3) 報告 I 平成 20 年中の山岳遭難事故概況報告 11:40～12:10

報告者：警察庁生活安全局地域課課長補佐 佐藤 孝治

(昼食・休憩 12:10～13:30)

(4) 報告 II 遭難事故の現場から(仮題) 13:30～14:30

報告者：東京消防庁奥多摩消防署 1 部山岳救助隊長 麻田 正彦

(5) 事例発表 「遭難防止対策の最前線」(仮題) 14:40～15:50 (質疑応答 10 分)

発表者：(株) ICI 石井スポーツ特販部部长 越谷 英雄

(6) 全体会及び閉会式 15:50～16:10

全体会で山岳遭難の事故防止の呼び掛け文の採択 (15:50～16:00)

7 日程表

	9:00	9:30	9:45	10:00	11:30	11:40	12:10	13:30	14:30	14:40	15:50	16:10
	受付	開 会 式		講 演		報 告 I	昼 食	報 告 II		事 例 発 表	閉 会 式	

8 申し込み

別紙様式に必要事項を記入の上、平成21年6月30日（火）までに、所属別に下記の関係省庁・団体等へ申し込むこと。

	所 属	申込先FAX番号	担当所属	担当者
1	警察庁関係者	03-3580-3014	警察庁生活安全局地域課	佐藤 伸幸
2	環境省関係者	03-3508-9278	環境省自然環境局総務課自然 ふれあい推進室	中塚 仁司
3	気象庁関係者	03-3284-0180	気象庁予報部業務課	山本 浩嗣
4	消防庁関係者	03-5253-7576	総務省消防庁国民保護・防災部 参事官付	大久保 善幸
5	山岳団体関係者	03-3481-2395	(社) 日本山岳協会	西内 博
6	1～5以外	03-6734-3792	文部科学省スポーツ・青少年局 生涯スポーツ課	関 伸夫